
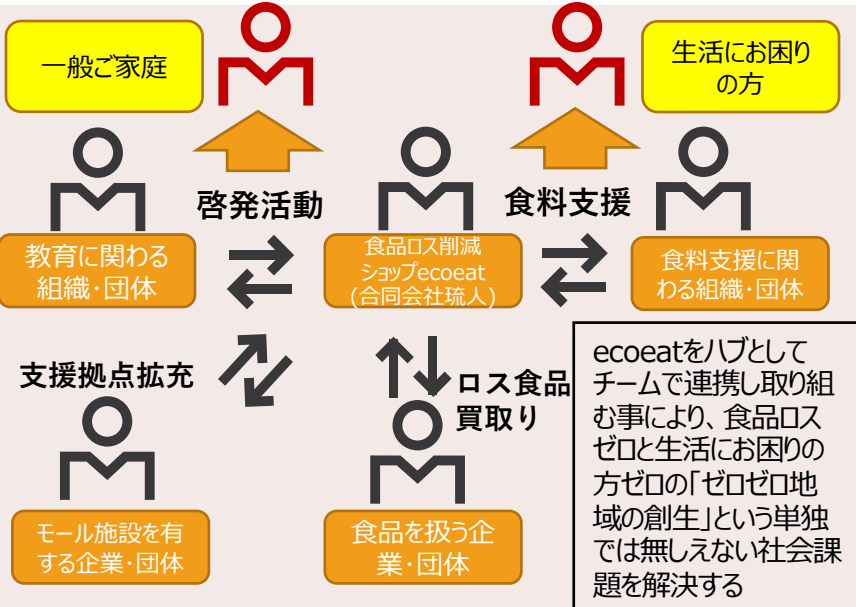


(地域の食品ロスゼロ・生活にお困りの方ゼロ) ゼロゼロ地域の創生 (ゼロゼロ地域創生PT)

<p>プロジェクトチームの目的</p>	<p>沖縄では年間6.1万tの食品ロス(美味しく食べられるのに捨てられている食材)がある一方で生活困窮者が多い(子供の貧困29.9%全国の倍)という矛盾を抱えている、プロジェクトを通して地域の企業や個人と連携を図り、両方の問題点に循環型で取り組み改善することで、沖縄にて食品ロスゼロ・生活にお困りの方ゼロの「ゼロゼロ地域を創出」する</p>		
<p>解決したい課題</p>	<p>・県内の食品ロスゼロ ・県内の生活にお困りの方ゼロ ・子供の貧困率改善</p>		
<p>関連するゴール</p>		<p>活動期間</p>	<p>令和6年4月～継続して活動</p>
<p>おきなわSDGsアクションプランとの関係性</p>	<p>優先課題⑨</p>	<p>⑨-3</p>	<p>地域課題に行政・地域・企業等の多様な関係者が持ち味をいかしつつ連携して推進するパートナーシップを通じて、共助・共創型の社会を実現する。</p>
	<p>優先課題②</p>	<p>②-3</p>	<p>ひとり親家庭など、支援が必要な方が安心して生活できる環境の形成を実現する。</p>
	<p>優先課題②</p>	<p>②-6</p>	<p>生活困窮世帯の子どもや世帯を支援する官民の枠組みが充実し、子ども達が生き生きと活動できる環境の形成を実現する。</p>
	<p>優先課題⑦</p>	<p>⑦-2</p>	<p>持続可能な消費・開発、自然と調和したライフスタイルの形成、廃棄物削減などによって資源循環型の社会を実現する。</p>

<p>活動内容 及び 期待される成果</p>	<p>プロジェクトチームのイメージ</p>
<p>①【食品ロス食材の買取】県内の食品を扱う企業・団体 ・目的を共有し連携企業を募り買取を行うことで県内の食品ロスの削減を図る</p> <p>②【支援拠点の拡充】県内のモールやそれに類する施設を有する企業・団体 ・連携し支援拠点としてのeecoat店舗を出店する：浦添以北</p> <p>③【啓発活動(勉強会)の実施】自治会・PTA・教育委員会等教育に関わる組織や団体 ・多くの方に賞味期限などに関する正しい知識を共有し食品ロスの削減に繋げる、小中学校の年間プログラムに取り入れることで家庭からのロスの削減を図る</p> <p>④【食糧支援の実施】保護課等の行政各課や社協や民間支援団体 ・連携して食糧支援を行い、継続的に支援を行うことができる仕組みを作る</p> <p>↓</p> <p>・食品ロスと貧困対策という2つの課題に取り組む事で、循環型で問題の解決につなげることができる</p> <p>・ロス食材の買取量23年30t0.05%→24年60t0.1%以降継続</p> <p>・支援拠点の拡充(浦添以北)により→県中北部へ支援エリアを広げる</p> <p>・小中学校での勉強会定期開催→家庭からの食品ロス削減</p> <p>・食糧支援の実施2023年末228件→2024年1000件実施以後継続</p>	 <p>ecoeatをハブとしてチームで連携し取り組む事により、食品ロスゼロと生活にお困りの方ゼロの「ゼロゼロ地域の創生」という単独では無しえない社会課題を解決する</p>